

◆ 新旧に折り合いをつける ～伝建地区・今井町での町家改修～

何左 昌範



改修後の外観



天井裏に隠れていた曲り梁と2階の板敷を活かす空間

2013年夏から2014年末にかけて、今井町重要伝統的建造物群保存地区(以下、伝建地区)に建つ町家の改修設計に関わる機会を得ました*1。

改修した建物は外観の形状等から明治初期以前の建築と推定されている元2軒長屋の南半分*2です。

『奈良の町家を考える会*3』に参加していた施主と私は、改修のコンセプトを「町家を持つ特性を理解し、その良さを継承・発展させる一方で、現代の生活様式における不便さを新たな技術をもって解消すること」としました。

伝建地区では、町並みを守るための規制と助成制度がある一方で、建築基準法等の法律を守ることが難しい点には規制緩和の措置があります。具体的には、建物の高さ等、昔ながらの外観形状は変更できません。道路に面する外観の改修は現状維持又は復元が原則で、昔ながらの工法での工事が求められます。また、柱や梁等の構造材は出来る限り保存活用しなければいけません。これらの工事では職人さんの熟練の技が光りました。一方で、必要な生活空間を確保するための増築には、条件付きですが建ぺい率の緩和が認められました。



改修前の外観



根継ぎ(柱の傷んだ部分の交換)

竹木舞(土壁の下地)

町家の良さを継承・発展を考える際には、『省エネで身体に優しい住環境づくり』に力を入れました。具体的には、昔の台所の換気口である『煙出し』を天窓に読み替え、“うなぎの寝床”と言われる町家の特徴である『中庭』等を活かした採光と通風経路を確保した上で、ガス発電・給湯暖房システムを導入し、温水式床暖房(+エアコン冷房)と天井扇を組み合わせた空気の循環で空調します。屋根・天井、外壁、床下には断熱材を入れ、複層ガラスのサッシを採用することで断熱性能等を確保することで、現在の省エネ基準に適合させて補助金給付も受けました。また、調湿効果が期待できる杉・松の無垢材や土壁等の自然素材も使用しています。

伝建地区に限らず、歴史ある町並みや建物の意匠を守りつつ住環境の向上を図る取り組みには、今後も関わっていきたいと考えています。



煙出しを天窓に読み替え

吹き抜けの天窓と天井扇

*1:当時の様子は、公益社団法人 奈良まちづくりセンターの機関誌『町家くん通信』で連載中。

*2:長屋の北半分とは構造的に分離済みで、それぞれ独立した建物となっていました。

*3:町家の保全・活用に取り組む活動団体や研究者、県内の若手建築家によって構成されています。

◆ 私設図書館 ～まちライブラリー～

辻 祐司



気になる看板



ライブラリー内部

私の事務所は、大阪の天満橋にあります。すぐ近くに府庁などの官公庁があり、たいへん便利な土地の割には、家賃が非常に安いのです。理由は、貸ビルの規模が小さくて、古い。設備も昔のままで、EV無し・トイレは男女共同と、高度成長期に建てられたビルが多いからです。

そんな街の一角に、数年前から気になる看板を上げているビルがありました。

《まちライブラリー》と書かれた看板で、その下にはビル共有スペースとしての打合せ室や図書室の写真が貼ってありました。看板のタイトルには惹かれながらも、オンボロビルの単なる空室対策なんだろうと、訪れる事無く、ひとり納得していました。

ところが先日、私の友人が出演するという事で、あるトークライブに参加したところ、その対談相手が《まちライブラリー》の提唱者の磯井純充(いそいよしみつ)氏だったので。《まちライブラリー》とは、私設図書館なんですが、その中身は既存のイメージとは全く違うものでした。「本」を通して「人」と出会う。地縁を作る為の道具が本だったので。今までの私設図書館は、個人の趣味や嗜好に走ったものが多かったと思いますが、《まちライブラリー》は人と人とがつながる事を目的としています。



関連本

その仕組みはいたって簡単。

- ①呼びかけて、皆んなで本を持ち寄る。→②本には貸出カード代りの感想カードが付いている。(本を持ち込んだ人は、カードに感想を書いておく。)
- ③次に読んだ人はまた感想を書き込む。→④カードを見て、また別の人がその本を借りる。→⑤イベントや懇親会を開催する。→⑥本をきっかけにつながりが生まれる。

以上の事を小人数から始めるだけ。そんなライブラリーが全国に170カ所もあるらしい。その第一号が、私の気になるオンボロビルだったので。あるものは、お寺の中で。またあるものは、歯科医院の中に。また別のものは森の中だと、小規模なものがほとんどですが、大阪府大や、もりのみやキューズモールの中など大きな規模のものもあります。

皆さん、一度行ってみられてはいかがでしょうか。

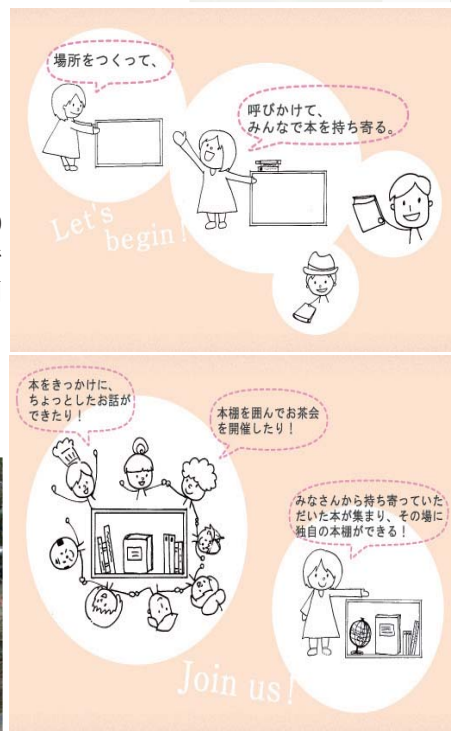
※まちライブラリー... <http://machi-library.org/>



お寺のライブラリー



森のライブラリー



◆ 編集後記

町家改修事業にあたっては、伝統的建造物について正しい見識を持ち、暮らし始めてからも住み手が満足する内容であることが、一過性ではない持続性のある、文化的改修を広く浸透させるカギであると再認識しました。

私設図書館のお話は、出会うことのなかった本・人に出会え新しい展開が期待できそうです。また、持ち寄った本から得られた情報(I N P U T)と、もはや存在が無視できなくなってきた電子書籍からのそれと比べ、これから我々ほどのような表現・発信(O U T P U T)の違いがみられていくのか、注視していきたいと感じさせられた内容でした。(松村 泰徳)

◆ 編集メンバー

井戸田 精一	SDIイダタセイイチアトリエ
米田 巧	TAKUMI建築設計室
辻 祐司	辻 建築設計室
何左 昌範	ささりな計画工房
橋爪 恒平	atelier nest-アトリエネスト
松村 泰徳	松村泰徳建築事務所
森本 晃尚	SDIイダタセイイチアトリエ

編集・発行 [アーキテクトキャラバン]

大阪事務局/
SDIイダタセイイチアトリエ
東大阪市吉田本町3丁目5-12-1004
TEL: 072-951-4668

奈良事務局/松村泰徳建築事務所
奈良県葛城市北花内261-5
松村ビル2F-WEST
TEL: 0745-69-5938

URL: <https://www.facebook.com/groups/25614507753600/>
Copy right 2010-2015 Architect Caravan All rights reserved

「アーキテクトキャラバン」は、建築に携わる有志が集まり、その活動内容や住まいに関する情報などを、広く皆様へお届けできる場として、年4回季刊誌形式にて発行しております。新築・リフォームに限らず住い全般のご相談等御座いましたら、ご遠慮なく左記事務局までご連絡頂きます様、宜しくお願い致します。